

(案)

地方独立行政法人奈良県立病院機構
第3期中期目標・中期計画



奈 良 県



地方独立
行政法人

奈良県立病院機構

Nara Prefectural Hospital Organization

目次

1	前文
2	第3期中期計画の策定にあたって
3	第1 中期目標の期間
3	第2 シンボルマーク、法人の理念、法人の決意
第3 目標の設定	
I 最適な医療の提供	
4	1 患者の視点に立った医療サービスの提供
8	2 高度医療の提供
12	3 地域の医療拠点としての機能の充実
16	4 西和医療センターの移転・再整備の推進
II 地域の医療力向上への貢献	
18	1 地域の医療機関等との役割分担と連携強化
22	2 地域の医療機能の向上のための支援
24	3 医療DXの推進
26	4 災害医療体制の強化
28	5 県民への医療・健康情報等の提供
III 優れた人材の確保・育成	
30	1 優れた医療人材の確保・育成
34	2 働き方改革の推進
38	3 看護大学校の移転・再整備の推進
40	4 経営感覚、改革意欲に富んだ人材の確保・育成
IV 安定した法人経営	
42	1 ガバナンス体制の充実
44	2 安定した経営基盤の確立

前文

地方独立行政法人奈良県立病院機構（以下「病院機構」という。）は、平成26年4月の設立以来、県民への最適な医療の提供、医療従事者に対する教育を通じた医療の質の向上及び地域医療発展への貢献を目的に、総合医療センター、西和医療センター、総合リハビリテーションセンターの3病院と看護大学校、医療専門職教育研修センターの2教育研修施設を一体的に運営し、政策医療や高度専門医療の提供等に取り組んでいる。

令和元年度から令和5年度までの第2期中期目標期間においては、救急患者、新生児やハイリスク妊婦の受入体制の強化、がん医療の充実などに積極的に取り組み、法人内の各病院や地域の医療機関等と連携し、県民の命と健康の守ることに大きく貢献した。

さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、県と連携して、発熱外来の設置やコロナ病床の確保、小児・周産期をはじめとする感染患者の積極的な受入など、県の感染症対策において一貫して重要な役割を担ってきた。

引き続き、病院機構には、県民への医療提供の中核を担う医療機関として、政策医療、高度専門医療、救命救急医療などを継続的かつ安定的に提供していくことを期待する。

一方、法人経営については、第2期中期目標期間を累計すると経常収支が赤字であり、また、多額の累積欠損金を抱えるなど、厳しい経営状況が続いている。健全な法人運営に向けた、抜本的な経営改善が喫緊の課題となっている。

このような中、令和6年度から5年間の第3期中期目標において、県は病院機構に対して、

- I 最適な医療の提供
- II 地域の医療力向上への貢献
- III 優れた人材の確保・育成
- IV 安定した法人経営

の4つの柱が重要との認識の下、地域の医療機関と連携して、県民の命と健康を守るという責務を果たしていくことを期待する。

第2期中期目標の成果や課題を踏まえ、奈良県地域医療構想や奈良県医療費適正化計画等とも整合を図りながら、地方独立行政法人としての利点を活かし、改革意欲をもって法人経営に取り組むとともに、病院機構の職員一人ひとりが、県民の生命と健康を支える医療人としての責務と、安定した法人経営への責任を自覚し、第3期中期目標の達成に向けて取り組むことを強く望むものである。

令和6年3月

奈良県知事 山下 真

第3期中期計画の策定にあたって

地方独立行政法人 奈良県立病院機構（以下、当機構）は、平成26年4月に設立されました。当時を思い返すと、奈良県総合医療センター（旧奈良県立奈良病院）、奈良県西和医療センター（旧奈良県立三室病院）、奈良県総合リハビリテーションセンターの3つの医療センターと、教育・研修施設は、奈良校と三室校の2つの看護専門学校、医療専門職教育研修センターの3つで構成されていました。その後、奈良県総合医療センターは平成30年5月に現在の地に移転し、看護専門学校は平成29年4月に三室校舎を増改築して統合、令和4年4月には4年制の奈良看護大学校に移行しました。また、令和5年12月には、西和医療センターの移転建替の候補地が決定し、気付けば節目の設立10年目が経過します。

当機構は、県が定めた中期目標に沿い、第1期（平成26年度～30年度）は、救急医療、周産期医療、専門的ながん医療、小児医療、糖尿病治療、精神医療、災害医療の7領域の充実を軸とした中期計画を策定し、全職員が目標を達成すべく、それぞれの施設で診療・教育の充実に努めました。平成30年度、新しい奈良県総合医療センターでの診療開始により、実績は向上しました。

そして、第2期（令和元年度～5年度）は、「患者によし、地域によし、職員によし」の「三方よし」を実践し、奈良県の医療レベルの向上に貢献することを謳った中期目標を県が策定したことを受けて、「患者にとって最適な医療の提供」、「地域の医療力向上への貢献」、「最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成」及び「自立した法人経営」の4つの柱立てをした中期計画を定めました。その計画期間の1年目が終わろうとする時期に、新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の危機に直面しました。未知のウイルスに対し、手探り状態ではありましたが、公的病院として全職員が一丸となって、感染者の診療・職員の感染防止に積極的に対応した結果、3年間コロナ感染症の影響は受けながらも、各指標を概ね達成することができる見込みです。

この度、上記の成果・課題を踏まえるとともに、県により示された第3期中期目標に従い、令和6年度からの5年間を見据えた第3期中期計画を策定しました。県民が求める高度・専門的な医療を安定的かつ継続的に提供するために、3つの医療センターがそれぞれ計画に沿って、最大限に機能を発揮します。提供する医療の質を高め、引き続き公的病院としての責務を果たすとともに、安定した経営基盤の確立に向け更なる業務改善を進め、邁進いたします。

さて、令和6年4月からは、「医師の働き方改革」の新制度が開始されます。これまで、当機構では、医師の献身的な診療体制で維持してきましたが、医師だけでなく医療従事者等の働き方改革を進め、全職員が誇りややりがいを持って働くことができる健全な職場環境をつくり、次代を担う医療人の育成に引き続き取り組みます。

令和6年3月

地方独立行政法人奈良県立病院機構

理事長 上田 裕一

第1 中期目標の期間

令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間とする。

第2 シンボルマーク、法人の理念、法人の決意

シンボルマーク



患者、県民を表す球を優しく守るように包む2枚の葉が、それぞれ「医の心」と「医の技」を表しています。

奈良の豊かな山々「青垣」をイメージするグリーンをイメージカラーとしています。

法人の理念

“医の心と技”を最高レベルに磨き、
県民の健康を生涯にわたって支え続けます。

法人の決意

3つの医療センターが持つそれぞれの機能を最大限発揮し、県民が求める高度・専門的な医療の安定的かつ継続的な提供に取り組めます。

医療圏内における医療提供体制の充実・強化に向けて、地域の医療機関との機能分担及び医療・介護・福祉との連携強化に取り組めます。

機構の全職員が協力し、医の心と技を最高レベルに磨くことに努めるとともに、働き方改革を進め、誇りややりがいを持って働くことができる職場環境をつくり、次代を担う医療人の育成に取り組めます。

※次ページ以降の「第3 目標の設定」において、総合医療センターは「総合」、西和医療センターは「西和」、総合リハビリテーションセンターは「リハ」、奈良看護大学校は「看大」、医療専門職教育研修センターは「研修セ」、法人本部事務局は「本部」、各病院（総合、西和及びリハ）は「3センター」、すべての所属（総合、西和、リハ、看大、研修セ、本部）は「法人全体」と表記します。

中期目標

大項目

I 最適な医療の提供

中項目

I 患者の視点に立った医療サービスの提供

患者やその家族が十分な理解と信頼のもとで診療を受けられるよう、インフォームド・コンセントの一層の徹底、セカンドオピニオン体制の充実を図ること。また、多職種連携によるチーム医療を推進し、それぞれの専門性を発揮しつつ職員が一丸となって、患者にとっての最適な医療の提供に努め、さらに県民の生命・健康の維持、増進の実現に貢献すること。

患者やその家族の視点に立ち、患者の負担軽減、快適な療養環境の整備、職員のホスピタリティーの向上を図るとともに、医療安全の確保と院内感染の防止に尽力すること。

特に次に掲げる事項について、中期計画において数値目標を設定のうえ取り組むこと。

- ① 患者中心の医療の実践
- ② 医療の質の標準化
- ③ 医療安全の確保・院内感染の防止
- ④ 多職種によるチーム医療の推進

目標指標	令和10年度時点
○ 患者アンケート満足度	(入院) 満足度95.0%以上 (外来) 満足度90.0%以上

中期計画

患者中心の医療を実践するため、患者や家族が十分な理解と信頼の下に検査・治療を受けられるよう、入院前に外来において医師による説明を行い、患者・家族の熟慮する時間を確保し、インフォームド・コンセントの一層の改善を図ります。

また、ISO9001の認証登録の取組みを継続するとともに、多職種によるチーム医療を推進し、医療の質を高めます。

取組項目

1 患者満足度の向上

具体的な行動計画 ✓十分な説明を行った上で、患者の意思を尊重して医療を提供します

評価指標 (定性的) ○インフォームド・コンセントに関する患者満足度調査を実施し、説明内容・説明対応を分析し改善

総合、西和及びリハにおいて、令和6年度に実施する患者満足度調査からインフォームド・コンセントに関する質問を追加し、回答内容を分析し、改善に努めます。

評価指標 (数値) ○診察（検査）の待ち時間

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	30分	25分	25分	25分	25分	25分
西和	28分	25分	25分	25分	25分	25分
リハ	28分	25分	25分	25分	25分	25分

2 ISO9001の認証登録

具体的な行動計画 ✓ISO9001維持・更新に向け取組みを推進します

評価指標 (定性的) ○ISO9001の維持・更新に向けた進捗

総合、西和、リハ、看大、研修セ及び本部が取得しているISO9001について、毎年の維持審査及び3年に1度の更新審査を通過できるように、内部監査等により品質維持に努めます。

中期計画

取組項目

3 インシデント・アクシデント報告・要因分析

具体的な 行動計画

✓インシデント・アクシデントレポートによる要因分析を推進します

評価指標 (定性的)

○要因分析を基にした改善

総合、西和及びリハにおいて、報告されたインシデント・アクシデントレポートを多職種で共有し、要因の分析に努め、対策を立案し、周知を行う等の改善に向けた取組みを行います。

4 多職種によるチーム医療

具体的な 行動計画

✓多職種によるチーム医療を推進します

評価指標 (定性的)

○多職種によるチーム医療の導入に向けた進捗

総合、西和及びリハにおいて、複数主治医制の導入診療科を順次拡大する等のチーム医療の導入に向けた体制の整備に努めます。

中期計画

中期目標

大項目

I 最適な医療の提供

中項目

2 高度医療の提供

県の医療政策の一翼を担う県立病院機構として、安定した医療実績を維持し、高度で専門的な医療の提供に努めること。特に、地域がん診療連携拠点病院である総合医療センターを核として、外科的手術、放射線治療、化学療法などのがん診療に積極的に取り組むこと。

また、脳卒中・循環器病に関する高度及び急性期医療の提供体制の構築、高齢化の急激な進展を踏まえた診療連携の構築に努めること。

特に次に掲げる事項について、中期計画において数値目標を設定のうえ取り組むこと。

- ① 質の高いがん医療の提供
- ② 脳卒中、循環器病への医療体制の構築

目標指標	令和10年度時点
○悪性腫瘍手術件数	【総合】1,200件以上 【西和】600件以上
○脳卒中、循環器病の緊急入院件数	【総合】1,100件以上 【西和】1,000件以上

中期計画

県の医療政策を推進する役割を積極的に担うため、高度・専門医療において、変化に応じた最適な医療を提供します。

取組項目

I 低侵襲手術、放射線治療、化学療法

具体的な行動計画
 ✓高難度手術、外来化学療法や最新の放射線治療を充実します
 ✓がんゲノム医療を推進します

評価指標 (数値)
 ○高難度手術（E、D難度）の実施件数（がん手術以外も含む）

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	6,369件	6,600件	6,700件	6,800件	6,800件	6,800件
西和	2,220件	2,450件	2,500件	2,550件	2,600件	2,650件

評価指標 (数値)
 ○外来化学療法の実施件数（実人員）

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	1,145件	1,160件	1,170件	1,180件	1,190件	1,200件
西和	143件	190件	190件	190件	190件	190件

評価指標 (数値)
 ○高精度（強度変調放射線治療・定位照射）の放射線治療の実施件数（実人数）

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	256件	350件	350件	400件	400件	400件

評価指標 (定性的)
 ○緩和ケアの充実

総合及び西和において、緩和ケアの人員及び体制の充実を図るとともに、緩和ケアチームの対応件数を増加させるように努めます。

中期計画

取組項目

2 消化器病に係る医療体制

具体的な行動計画 ✓消化器領域の先進的医療を導入・実施します

評価指標 (定性的) ○消化器領域の先進的医療を導入・実施に向けた進捗

総合及び西和において、消化器領域の先進的医療の導入・実施に向けた取組みの推進に努めます。

3 造血幹細胞移植（骨髄移植含む）

具体的な行動計画 ✓造血幹細胞移植等（骨髄移植を含む）の実施に向けて体制を整備します

評価指標 (定性的) ○骨髄移植・造血幹細胞移植等の実施に向けた体制整備の進捗

総合において、骨髄移植・造血幹移植等の実施に向けた体制整備に努めます。

4 脳卒中・循環器病に係る救急体制

具体的な行動計画 ✓脳卒中、循環器病に係る救急体制を充実します

評価指標 (数値) ○脳卒中の緊急治療件数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	537件	600件	610件	610件	620件	650件
西和	261件	360件	370件	380件	390件	400件

評価指標 (数値) ○循環器病の緊急治療件数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	353件	400件	410件	410件	420件	450件
西和	379件	440件	450件	460件	480件	500件

中期計画

取組項目

5 ICU・CCU・SCUの整備

具体的な 行動計画

✓脳神経・循環器領域の先進的医療を導入・実施します

評価指標 (定性的)

○脳神経・循環器領域の先進的医療を導入・実施に向けた進捗

総合及び西和において、脳神経・循環器領域の先進的医療を導入・実施に向けた取組みの推進に努めます。

- ICU … 集中治療室
- CCU … 循環器集中治療室
- SCU … 脳卒中集中治療室

中期目標

大項目

I 最適な医療の提供

中項目

3 地域の医療拠点としての機能の充実

県における急性期医療の拠点病院として、広域的な高度救急医療の提供体制を整備し、救急患者の受入に、より一層取り組むこと。特に、小児・周産期の患者への対応に努めること。

リハビリテーションセンターにおいては、県の回復期医療の基幹病院として、在宅復帰の推進に向けリハビリ機能の充実と地域の医療機関との連携に取り組むこと。

また、新型コロナウイルス感染症拡大時に、公立病院が感染症拡大防止、感染患者への医療提供に大きな役割を担った経験を踏まえ、日頃から県内の感染症拡大に備えるとともに、感染症医療の充実に取り組むこと。

特に次に掲げる事項について、中期計画において数値目標を設定のうえ取り組むこと。

- ① 断らない救急医療の充実
- ② 小児・周産期医療の充実
- ③ リハビリテーション機能の充実
- ④ 感染症対策・感染症医療の充実・推進

目標指標	令和10年度時点
○救急搬送受入件数	【総合】7,500件以上 【西和】4,500件以上
○ハイリスク妊婦救急受入率	【総合】95.0%以上
○新生児、小児救急受入率	【総合】95.0%以上 【西和】90.0%以上
○リハビリ在宅復帰率	【リハ】93.0%以上

中期計画

県の医療計画を踏まえ、救急医療、小児・周産期医療等の拠点としての役割を一層果たしていけるよう、機能強化に取り組みます。

精神医療については、総合医療センターにおいて、精神科救急・身体合併症患者の受入を継続します。

また、リハビリテーションセンターを中心に、総合医療センター・西和医療センターにおいても発達障害児の診療を充実します。

取組項目

1 ER体制の充実

具体的な行動計画 ✓ER体制を充実します

評価指標
(数値) ○ER・総合診療科の医師数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	17人	15人	16人	17人	17人	18人

評価指標
(数値) ○ER・総合診療科の看護師数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	33人	40人	40人	40人	40人	40人

2 応需件数の目標設定

具体的な行動計画 ✓目標の応需ができるような体制を整備します

評価指標
(数値) ○救急搬送応需件数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	6,525件	7,200件	7,300件	7,400件	7,400件	7,500件
西和	3,129件	4,100件	4,200件	4,300件	4,400件	4,500件

評価指標
(数値) ○救急搬送応需率

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	79.3%	90.0%	92.0%	92.0%	92.0%	93.0%
西和	62.9%	76.0%	77.0%	78.0%	79.0%	80.0%

中期計画

取組項目

3 小児救急、小児外科

具体的な行動計画 ✓小児救急受入体制を充実します
✓小児外科の診療を充実します

評価指標
(数値) ○小児救急搬送応需件数

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	1,672件	1,700件	1,750件	1,750件	1,750件	1,750件
西和	417件	600件	600件	600件	600件	600件

4 ハイリスク妊婦、新生児の受入れ

具体的な行動計画 ✓分娩・母体搬送対応体制を充実します

評価指標
(数値) ○ハイリスク妊婦の救急搬送応需件数

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	108件	100件	100件	100件	100件	100件

5 急性期リハビリ

具体的な行動計画 ✓心臓、呼吸器、脳血管などの急性期リハビリを充実します

評価指標
(数値) ○急性期リハビリ実施件数

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	80,568件	81,000件	82,000件	82,000件	82,000件	82,000件
西和	62,500件	72,000件	72,000件	72,000件	72,000件	72,000件

中期計画

取組項目

6 回復期リハビリ

具体的な行動計画 ✓ADL改善支援を強化します

評価指標 (数値) ○リハビリ在宅復帰率の向上

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
リハ	91.6%	92.2%	92.4%	92.6%	92.8%	93.0%

評価指標 (数値) ○機能的自立度評価法による得点の向上

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
リハ	28点	28点	28点	28点	28点	28点

7 感染症パンデミックへの対応

具体的な行動計画 ✓新興感染症・感染症パンデミックへの即応体制を堅持します

評価指標 (定性的) ○新興感染症・感染症パンデミックへの即応体制の堅持に向けた進捗

新興感染症発生時には、総合及び西和において、発熱外来の設置や受入病床を確保し、重症患者等を受け入れる体制を堅持します。そのため、平時から医療体制や必要な備品等を整備するとともに、新興感染症発生時には迅速に体制移行を円滑に行うことができるように備えます。

また、地域の医療機関との連携による感染症対策や院内外における感染管理活動を推進することにより、地域の中核的な役割を果たします。

中期目標

大項目

I 最適な医療の提供

中項目

4 新西和医療センターの移転・再整備の推進

新西和医療センターの令和13年度中の開院を目指し、県、関係市町村等と連携して、移転・再整備を推進すること。西和地域の重症急性期医療を担う基幹病院として必要な機能を整備するとともに、今後の高齢化や人口減少の進行等による医療ニーズの変化、医師等の働き方改革も念頭に入れた医療従事者の確保、地域の医療機関や総合医療センターとの役割分担等を踏まえ、県の医療提供体制にとって適切な規模とすること。

中期計画

西和医療センターについては、令和6年度にとりまとめる整備基本計画に則り、計画的に整備を進めます。

取組項目

I 基本構想、基本計画による整備の推進

具体的な行動計画 ✓ 県と病院機構において、マイルストーンを押さえ、計画的に事業を進めます

評価指標 (定性的) ○ 新病院整備に向けたスケジュールに基づいた進捗

令和6年度中には「新西和医療センター整備基本計画」を策定し、令和13年度の移転開院に向けて、県と機構が協力して事業執行に努めます。

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
基本計画の策定	基本設計	実施設計	建築・整備				移転開院
用地測量	用地買収						

中期目標

大項目

Ⅱ 地域の医療力向上への貢献

中項目

Ⅰ 地域の医療機関等との役割分担と連携強化

患者にとって最適な医療を提供できるよう、地域の医療機関と連携して、それぞれの医療機能を有効に活用できる医療提供体制を構築すること。

本県の急性期医療の拠点病院及び地域医療支援病院としての役割を果たすため、病病・病診連携に取り組み、患者の紹介・逆紹介を一層推進すること。また、医療圏内における医療提供体制の充実・強化に向けて、地域の医療機関等との機能分担及び医療・介護・福祉との連携強化に取り組むこと。

目標指標	令和10年度時点
○患者紹介率	【総合】80.0%以上 【西和】80.0%以上
○患者逆紹介率	【総合】88.0%以上 【西和】88.0%以上

中期計画

地域包括ケアシステムにおける役割を果たすため、地域の医療機関と機能・役割分担を明確にするとともに、地域の福祉・介護関係機関、行政等との連携を強化します。また総合医療センター・西和医療センターにおいては、地域医療連携推進法人の活用も含めた連携を推進します。

【地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能】

- 総合：高度急性期から在宅医療まで地域で提供できるよう、近隣の医療機関と更なる連携を深め効率的な医療提供体制を実施します。当センターで果たすべき高度急性期医療を継続して実施します。
- 西和：在宅療養後方支援病院として、地域の医療機関や地元7町の地域包括支援センターとの連携を強化することで、西和地域における地域包括ケアシステムの更なる深化・推進を支援します。
- リハ：地域の医療機関、福祉・介護関係機関と連携し、回復期のリハビリテーションの提供及び退院後のフォローアップに努めます。

取組項目

I 病病連携、病診連携、病福連携

- 具体的な行動計画**
- ✓病院の役割分担に基づく紹介、逆紹介を促進します
 - ✓福祉・介護事業と医療の連携を強化します

評価指標 (数値)

○紹介率

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	66.2%	70.0%	70.0%	75.0%	75.0%	80.0%
西和	74.6%	83.0%	84.0%	85.0%	85.0%	85.0%

評価指標 (数値)

○逆紹介率

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	82.6%	85.0%	90.0%	90.0%	95.0%	100.0%
西和	94.3%	105.0%	106.0%	106.0%	106.0%	106.0%

中期計画

取組項目

1 病病連携、病診連携、病福連携（続き）

具体的な行動計画 ✓病院の役割分担に基づく紹介、逆紹介を促進します
 ✓福祉・介護事業と医療の連携を強化します

評価指標
 (数値) ○地域交流会開催件数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	4件	5件	5件	5件	5件	5件
西和	38件	30件	30件	30件	30件	30件
リハ	3件	11件	12件	13件	14件	15件

評価指標
 (数値) ○脳卒中地域連携パス件数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
リハ	78件	82件	84件	86件	88件	90件

2 地域医療連携推進法人の推進

具体的な行動計画 ✓地域医療連携推進法人制度の活用も含め、近隣の医療機関との更なる連携を推進します

評価指標
 (定性的) ○地域医療連携推進法人制度活用に向けた進捗

総合及び西和において、地域医療連携推進法人制度の活用に向けた取組みの推進に努めます。

中期計画

大項目

Ⅱ 地域の医療力向上への貢献

中項目

2 地域の医療機能の向上のための支援

県民の生命・健康の維持・増進に向け、地域医療を担う医師をはじめとする医療従事者等に対し、病院機構が有する最新の医療情報・技術等の普及、及び教育・研修に取り組み、県内の医療水準の向上に寄与すること。

また、高度・専門医療を担う公的病院として、診療実績の調査や臨床研究を推進すること。

中期計画

地域の医療力向上を目指し、学術集会・教育研修の機会を提供することで地域医療従事者の資質向上を支援します。

取組項目

I 学術集会、研修会等の開催

具体的な 行動計画

✓地域の医療従事者に学術集会・教育研修の機会を提供します

評価指標 (数値)

○地域医療従事者向け知識（講座）修得研修の参加人数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	282人	300人	310人	330人	340人	360人
西和	573人	600人	600人	650人	650人	650人
リハ	70人	100人	100人	100人	100人	100人

評価指標 (数値)

○救命救急士等の技術（実習）修得研修の受入人数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	74人	70人	70人	70人	70人	70人
西和	55人	70人	70人	70人	70人	70人

大項目

Ⅱ 地域の医療力向上への貢献

中項目

3 医療DXの推進

県の「地域デジタル社会の構築により県民の幸福な生活の実現と地域の持続的な発展を図る条例」等に基づき、医療分野におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進に取り組むこと。

また、デジタルデータを効果的に活用し、県民の医療ニーズを的確に把握するとともに、業務能率の向上や経営資源の有効活用などにより病院運営の効率化に努めること。

中期計画

令和7年度の3センターによる医療情報システム基盤の統合を核として、各種データやデジタル技術の積極的な活用を推進し、患者サービスの向上や医療の質向上、業務の課題解決・効率化を進めます。また最新の医療情報システムの安全管理に関するガイドラインを踏まえた情報セキュリティ対策の徹底を図ります。

取組項目

I 3センターの医療情報システム基盤の統合、医療DXの推進

具体的な行動計画 ✓ 3センターの電子カルテを中心とした医療情報システムの更新を県と協議の上、計画的に進めます

評価指標 (定性的) ○ 電子カルテ導入に向けた進捗

3センターにおいて、共通の電子カルテシステム導入に向けて、県と協議のうえ、計画的な事業執行に努めます。
業務におけるモバイル利用を強化します。
バックアップやサイバーセキュリティ対策を盛り込んだシステム構築を行います。

評価指標 (定性的) ○ ICTを活用した業務の効率化に向けた進捗

3センターにおいて、ICTを活用した業務の効率化に向けて、計画的な事業執行に努めます。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
医療情報システム基盤の統合	システム構築	稼働			

大項目

Ⅱ 地域の医療力向上への貢献

中項目

4 災害医療体制の強化

災害発生時に、総合医療センターは北和地域における地域災害拠点病院として、西和医療センター・リハビリテーションセンターにおいても各地域の地域災害拠点病院等と連携して、県民の生命と安全を守るため、医療救護活動の拠点としての役割を果たすこと。そのために、災害発生等に備えて、平時から医薬品等の備蓄、災害訓練の実施に取り組むとともに、地域の医療機関等と連携した訓練の実施、DMAT職員の養成など災害医療体制の強化に努めること。

中期計画

地域災害拠点病院として、DMATの充実や災害備蓄品等を整備し、BCP等に基づいた訓練を継続的に実施するとともに、県内の地域災害拠点病院及び消防、自治会等の関係機関と連携を密にし、県から求められる役割等に応じた災害医療を適切に提供します。

取組項目

1 業務継続計画（BCP）の充実

具体的な行動計画 ✓業務継続計画（BCP）を適宜更新し、充実を図ります
✓自院被災等を想定した訓練を充実します

評価指標（数値） ○自院被災を想定した院内防災訓練の実施回数

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	2回	2回	2回	2回	2回	2回
西和	2回	2回	2回	2回	2回	2回
リハ	3回	3回	3回	3回	3回	3回

評価指標（定性的） ○自院被災を想定した院内防災訓練の内容の充実

総合、西和及びリハにおいて、毎年度実施する自院被災を想定した院内防災訓練の実施状況を踏まえて、次年度の訓練に向けた内容の充実に努めます。

2 DMAT隊員の養成

具体的な行動計画 ✓DMAT隊員の養成を推進します

評価指標（数値） ○DMAT要員の配置人数

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	21人	25人	25人	25人	25人	25人
西和	14人	13人	13人	13人	13人	13人

大項目

Ⅱ 地域の医療力向上への貢献

中項目

5 県民への医療・健康情報等の提供

県民の医療や健康に対する理解と医療リテラシーの向上を目指し、最新の医療情報や健康増進に資する情報、かかりつけ医制度等について、公開講座やホームページ・SNS等多様な手法により、県民にわかりやすく発信すること。

中期計画

ホームページ等の広報媒体を通じ、病院の特色や取り組み内容、県立病院として担う役割等について、県民目線に立った分かりやすい情報発信に努めます。また公開講座等の積極的な健康情報の提供など、地域に対して積極的に情報発信を行います。

取組項目

I 医療・健康情報等の広報

具体的な行動計画 ✓HP、SNS、病院年報等を活用して経営状況、稼働状況、臨床指標、各病院の医療機能などの公表を推進します

評価指標
(定性的) ○HP等を活用した広報に向けた進捗

総合、西和及びリハにおいて、HP等を活用した広報の充実に努めます。

2 公開講座等の開催

具体的な行動計画 ✓公開講座等による医療・健康情報の提供を推進します

評価指標
(数値) ○地域住民向け公開講座の参加人数

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	298人	320人	340人	380人	420人	450人
西和	開催中止	200人	200人	250人	250人	250人
リハ	338人	350人	350人	350人	350人	350人

中期目標

大項目

Ⅲ 優れた人材の確保・育成

中項目

Ⅰ 優れた医療人材の確保・育成

患者にとって最適な医療を持続的かつ安定的に提供していくため、その基盤である医師や看護師、すべての医療職について優れた医療人材の確保に努めること。病院機構の医療水準の向上を図るため、教育研修機能の充実・強化、専門資格等の取得サポートなど人材育成と定着に取り組むとともに、全ての診療や作業の質の向上を図ること。

目標指標	令和10年度時点
○専門医数	500人以上

中期計画

機構の役割及び医療機能を最大限発揮するため、人材の確保に努めるとともに、医療専門職教育研修センターの活動を充実し、職員に育成・定着を図ります。継続的に医師不足に直面する地域での研修医の地域医療研修を行います。また、看護大学校の教育レベルの向上を目指します。

取組項目

1 初期臨床研修、専門医修練プログラムの充実

具体的な行動計画

- ✓ 卒後臨床研修評価機構の認定取得を推進します
- ✓ 日本専門医機構の認証制度を推進します

評価指標 (定性的)

- 初期臨床研修医フルマッチの維持

総合及び西和において、初期臨床研修医のフルマッチの維持に努めます。

評価指標 (数値)

- 専門医認定機構の認証プログラムを受講する専攻医数

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	54人	56人	56人	58人	58人	60人
西和	11人	11人	11人	11人	11人	11人

2 医療専門職教育研修センターの活動

具体的な行動計画

- ✓ 全職員向け研修及び職種別・職位別研修を充実します
- ✓ 臨床研究の充実のための組織（仮称：地域医療改善研究所）を設置します

評価指標 (数値)

- 全職員向け研修及び職種別・職位別研修の開催件数

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
研修セ	16件	16件	16件	16件	16件	16件

中期計画

取組項目

2 医療専門職教育研修センターの活動（続き）

具体的な
行動計画
(再掲)

- ✓全職員向け研修及び職種別・職位別研修を充実します
- ✓臨床研究の充実のための組織（仮称：地域医療改善研究所）を設置します

評価指標
(数値)

○全職員向け研修及び職種別・職位別研修の参加者数

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
研修セ	1,306人	1,400人	1,500人	1,600人	1,600人	1,600人

評価指標
(定性的)

○臨床研究の充実のための組織の設置に向けた進捗

研修セにおいて、臨床研究の充実のための組織の設置に向けて、令和6年度から令和8年度は調査のうえ、計画を立て、令和9年度は試行し、令和10年度には正式に設置します。

3 奈良看護大学校の活動（教育レベルの向上・教育環境の充実）

具体的な
行動計画

- ✓国家試験合格率95%を達成する取組を推進します
- ✓教員の教育実践力・看護実践力を向上します

評価指標
(数値)

○看護師国家試験合格率

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
看大	92.5%	卒業生なし	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%

評価指標
(数値)

○機構への入職率

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
看大	60.0%	卒業生なし	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%

評価指標
(数値)

○県内病院への入職率

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
看大	78.8%	卒業生なし	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%

※令和4年4月1日から4年制に移行したため、令和6年度末の卒業生はいない。

中期計画

中期目標

大項目

Ⅲ 優れた人材の確保・育成

中項目

2 働き方改革の推進

医師や医療従事者の働き方改革の推進、ワークライフバランスの実現、コミュニケーションの活性化などに積極的に取り組み、すべての職員にとって働きやすく、かつ働きがいのある職場環境の実現に努めること。また、医療水準の維持・向上に向け、タスクシフト・タスクシェアの推進、医療DXの推進など、多角的な取組を進めること。

目標指標	令和10年度時点
○職員アンケート満足度 (ワークライフバランスの満足度)	75%以上

中期計画

働きやすい職場づくりを目指すとともに、超過勤務の縮減に取り組みます。
より質の高い医療を提供できるよう、多職種でのタスクシェアリング・タスクシフティングを推進するとともに、医療DXも活用し、業務の効率化を図るなど医師の働き方改革を計画的に進めます。

取組項目

I 働きやすい職場づくり

具体的な行動計画 ✓ワークライフバランスを実現します
✓障害者雇用を促進します

評価指標 (数値) ○職員アンケート調査で「ワークライフバランスが図れている」と回答した職員の割合

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	55.5%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%

評価指標 (数値) ○障害者雇用率

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	2.36%	2.80%	2.80%	3.00%	3.00%	3.00%

2 超過勤務の縮減

具体的な行動計画 ✓働き方改革のため超過勤務時間を適切に管理します

評価指標 (定性的) ○超過勤務時間の適切な管理に向けた進捗

令和6年度から実施の医師の働き方改革への対応も含め、医療従事者の超過勤務縮減を始めとする労働時間の適切な管理、健康確保措置に努めます。

中期計画

取組項目

3 タスクシェア・タスクシフト

具体的な 行動計画

✓多職種でのタスクシェアリング・タスクシフティングを推進します

評価指標 (定性的)

○多職種でのタスクシェアリング・タスクシフティング導入に向けた進捗

総合、西和及びリハにおいて、多職種でのタスクシェアリング・タスクシフティング導入に向けた取組みの推進に努めます。

評価指標 (定性的)

○特定行為研修の組織定着に向けた取組み

特定行為研修の受講と修了者の活動を推進する取組みを、組織的かつ継続的に行い、活動環境整備による特定行為実施件数増加の取組みを推進します。

中期計画

大項目

Ⅲ 優れた人材の確保・育成

中項目

3 看護大学校の移転・再整備の推進

将来の県の医療を支える優秀な看護人材を確保・育成するため、最新の看護教育を実践すること。看護師を目指す学生にとって魅力のある「新奈良看護大学校」の移転・再整備に向け、県、関係団体等と連携して推進すること。

中期計画

看護大学校について、将来の県の医療を支える優秀な看護人材を養成するため、今後策定する看護大学校基本構想・基本計画等に基づいた全面的な建替えによる再整備を進めます。

取組項目

I 基本構想、基本計画による整備の推進

具体的な 行動計画

✓県と病院機構において、マイルストーンを押さえ、計画的に事業を進めます

評価指標 (定性的)

○新看護大学校整備に向けたスケジュールに基づいた進捗

「新看護大学校整備基本構想」及び「新看護大学校整備基本計画」を策定し、それらに基づき、県と機構が協力した事業執行に努めます。

大項目

Ⅲ 優れた人材の確保・育成

中項目

4 経営感覚、改革意欲に富んだ人材の確保・育成

自立した病院経営を確立するため、医療従事者を含む全職員の経営参画意識と改革意欲の向上に取り組むこと。また、病院経営や病院特有の事務に精通した経営感覚のある人材の確保と育成に継続的に取り組むこと。

中期計画

事務部門の専門性の向上を図り、医療制度や経営環境の変化等に的確に対応できる事務職員を確保・養成します。

取組項目

I 事務職員のマネジメント力の向上

具体的な 行動計画

✓職員のスキルアップを目指します

評価指標 (定性的)

○職務・職位別のキャリアパスの整備の進捗

本部において、職務・職位別のキャリアパスの整備の推進に向けた取組みの推進に努めます。

大項目

IV 安定した法人経営

中項目

I ガバナンス体制の充実

地方独立行政法人制度を活かして、機動的かつ主体的な病院経営を行うこと。病院機構全体の一体的・効率的な運営に向け、法人本部事務局における経営戦略機能の充実と能力向上に努めるとともに、中期目標及び中期計画、年度計画の実現に向けた体制整備を図ること。

県民の病院機構に対する信頼を損なわないよう、法令の遵守、個人情報保護・管理、ハラスメントの排除などを徹底すること。

特に次に掲げる事項について、中期計画において数値目標を設定のうえ取り組むこと。

- ① 法人理念・目標の徹底
- ② コンプライアンス・法令の遵守

中期計画

機構の理念、関係法令等の遵守について職員の意識を向上させるとともに、日々の業務を通じて規程・基準の点検・改善を行うことにより、ガバナンスの強化やコンプライアンスの徹底を図り、病院運営の適正化や透明性の確保に努めます。

取組項目

1 医療施設職員としての意識向上

具体的な行動計画 ✓法人理念の浸透・共有を推進します

評価指標 (数値) ○職員アンケート調査で「法人の理念や中期目標を意識して行動している」と回答した職員の割合

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	73.9%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%

2 マニュアル、規程の整備（ISO関連）

具体的な行動計画 ✓適正な業務推進のため、マニュアル・規程を整備し、職員に周知・徹底します

評価指標 (数値) ○ISO内部監査の改善取り組み実施の件数

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	30件	30件	30件	30件	30件	30件
西和	58件	45件	40件	40件	40件	40件
リハ	28件	30件	20件	20件	15件	15件
看大	-件	2件	2件	2件	2件	2件
研修セ	-件	3件	3件	2件	2件	2件
本部	-件	15件	13件	11件	9件	7件

3 組織文化の醸成

具体的な行動計画 ✓「報告する文化」を維持・推進します

評価指標 (数値) ○職員アンケート調査で「職場の上司や先輩に相談しやすい雰囲気である」と回答した職員の割合

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	65.4%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%

中期目標

大項目

IV 安定した法人経営

中項目

2 安定した経営基盤の確立

病院機構の理念を実現し、中期目標を達成するために、安定した経営基盤の確立に全力で取り組むこと。県の医療政策や県民の医療ニーズに応えつつ、収益確保と費用構造の改革に取り組み、累積赤字の低減に努めること。

医療機器・医療情報システムの更新、西和医療センターや看護大学校の移転・再整備などの大規模な投資が予定される中、中長期的な財務バランスを踏まえた適切な投資に努めること。

特に次に掲げる事項について、中期計画において数値目標を設定のうえ取り組むこと。

- ① 財務内容の改善
- ② 収益の確保と費用構造改革の徹底
- ③ 財務バランスを踏まえた計画的な投資
- ④ 経営資源の効率的な活用

目標指標	令和10年度時点
○経常収支比率	98.0%以上
○医業収益に対する人件費比率	52.0%以下

中期計画

より安定した経営基盤を確立し、自律的な法人運営を行うため、経営状況の分析・管理に取り組むとともに、収入の確保と適切な支出の徹底に努め、財務内容の改善を図ります。

また健全で効率的な病院運営を継続するため、短期借入金の調達、設備投資やそれに伴う将来的な借入金償還の返済額を踏まえ、キャッシュフロー重視の経営を行い、病院機構全体で計画的な資金収支の管理に努め、経営基盤の安定化を図り、債務超過の縮減に取り組みます。

取組項目

I 経営指標による管理、改善

具体的な 行動計画

✓日次・月次で経営指標を分析し、改善に取り組みます

評価指標 (定性的)

○経営指標を分析し、改善へ向けた取組みの実施に向けた進捗

毎月の理事会において、各種経営指標について各所属より報告し議論する等、経営改善に向けた取組みの推進に努めます。

【各種経営指標の令和10年度時点の目標値】

○病床稼働率

総合（全503床）：95.0%、西和（全300床）：95.0%、リハ（全100床）：97.2%

○1日1人あたり入院単価

総合：99,000円、西和：86,707円、リハ：43,801円

○1日1人あたり外来単価

総合：25,568円、西和：20,400円、リハ：9,715円

○平均在院日数

総合：10.2日、西和：9.5日、リハ：14.0日

中期計画

取組項目

2 医業収入増加、医業費用削減の方策

具体的な行動計画 ✓地域医療への貢献を果すことで医業収入を増加します
✓医業費用を節減します

評価指標
(数値) ○経常収支比率

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	97.6%	95.1%	95.2%	96.2%	97.5%	98.1%

評価指標
(数値) ○医業収支比率

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	85.0%	95.0%	96.0%	97.0%	98.0%	99.0%

※医業収益に運営費交付金（①政策医療分及び②施設・機器の元利償還分）を含む

評価指標
(数値) ○修正医業収支比率

区分	実績		目標			
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	77.1%	88.2%	88.3%	89.2%	89.5%	90.0%

3 医療機器、設備整備計画

具体的な行動計画 ✓医療機能の維持・向上のための設備更新を計画的に進めます

評価指標
(定性的) ○計画的な設備更新に向けた進捗

3センターにおいて、計画的な設備更新に向けた取組みの推進に努めます。

中期計画

取組項目

4 業務改善の取組み

具体的な 行動計画

✓安定した経営基盤の確立に向けて業務の改善に取り組みます

評価指標 (定性的)

○安定した経営基盤の確立に向けた業務改善の進捗

第3期中期計画期間においては、働き方改革に伴う給与費の増加、医療の高度化に伴う薬品費を中心とした材料費の増加、医療DXの推進等に伴う機器整備費による減価償却費の増加等、費用の増加が見込まれる中、安定的な経営を実現するため、以下のような具体的な取り組みを進め、令和12年度までのできるだけ早い時期に経常黒字化を目指します。

- 1 医業収益の増加対策
 - ① 病病連携、病診連携の取り組みの強化による紹介・逆紹介の増
 - ② 【総合・西和】救急搬送の受入体制の強化による受入件数の増
 - ③ 【総合】令和10年に向け病床数を順次拡大（481床→503床）
 - ④ 機構内3病院による診療継続連携（高度急性期⇄急性期⇄回復期）の推進
 - ⑤ 診療請求業務（入院）の内製化による精度の向上
- 2 医業費用の縮減対策
 - ① 働き方改革への対応を図りつつ、適正な職員配置の推進
 - ② 医療DXの導入等による業務の効率化の推進
 - ③ 費用対効果を検討した上での計画的な機器の導入
 - ④ 材料費、委託費、光熱水費等の諸経費の縮減

【第3期中期計画期間中の機能ごとの病床数計画】

区分	現在	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	一般病床	455床	462床	471床	477床	477床
	精神病床	20床	20床	20床	20床	20床
	感染症病床	6床	6床	6床	6床	6床
	合計	481床	488床	497床	503床	503床
西和	一般病床	300床	300床	300床	300床	300床
	合計	300床	300床	300床	300床	300床
リハ	一般病床	26床	26床	26床	26床	26床
	回復期病床	74床	74床	74床	74床	74床
	合計	100床	100床	100床	100床	100床

V 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画
別紙のとおり

VI 短期借入金の限度額
8, 000百万円

VII 出資に係る不要財産の処分に関する計画
なし

VIII 前項以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画
なし

IX 剰余金の使途
決算において剰余金が発生した場合は、診療の質の向上、人材育成の充実などに充てる。

X 料金に関する事項

1 料金は、次に掲げる額とする。

(1) 平成20年厚生労働省告示第59号（診療報酬の算定方法）第1号及び第2号並びに平成20年厚生労働省告示第93号（厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法）並びに平成18年厚生労働省告示第99号（入院時食事療養費に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準）の規定により算定した額とする。ただし、労働者災害補償保険法（昭和22年法律第50号）の規定による療養の給付に係るものについては平成20年厚生労働省告示第59号第1号及び第2号の規定により算定した額に100分の115を乗じて得た額とし、自動車損害賠償保障法（昭和30年法律第97号）の規定により損害賠償が請求できる場合の医療に係るものについては、平成20年厚生労働省告示第59号第1号及び第2号の規定により算定した額に100分の150を乗じて得た額とする。

(2) 前項の規定により算定することができない使用料及び手数料の額は、別に定める額とする。

2 料金の減免

理事長は、特別の理由があると認めるときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができる。

XI 県の規則で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画

施設及び設備については、県民の医療ニーズ、医療技術の進展、費用対効果等を勘案し、整備を行う。

施設・設備の内容	予定額	財源
施設、医療機器等整備	総額 約11, 689百万円	長期借入金、その他資本収入等

2 積立金の使途

診療の質の向上、人材育成の充実などに充てる。

3 その他法人の業務運営に関し必要な事項

なし

(別紙)

1 予算(令和6(2024)年度~令和10(2028)年度)

(単位:百万円)

区 分	金 額
収入	
営業収益	207,673
医業収益	196,789
看護師養成収益	593
運営費交付金	9,388
補助金等	903
営業外収益	1,074
運営費交付金	575
財務収益	0
その他営業外収益	499
資本収入	19,369
運営費交付金	7,405
長期借入金	11,964
その他資本収入	0
計	228,116
支出	
営業費用	198,965
医業費用	195,685
給与費	95,830
材料費	65,206
経費	34,346
研究研修費	303
看護師養成費用	1,673
一般管理費	1,607
営業外費用	1,096
資本支出	25,011
建設改良費	11,689
償還金	13,322
計	225,072

【人件費の見積り】

期間中総額99,533百万円を支出する。

なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

【運営費交付金の算定ルール】

県から交付される運営費交付金は、下記の算定基準に基づき、一定の仮定の下に試算されたものであり、各事業年度の運営費交付金は、県の予算編成過程において、基準を適用する等により計算し、決定される。

①運営

令和5（2023）年度の普通交付税の基準財政需要額算定方法等に準じて算定

②退職手当

承継職員等に係る退職手当のうち県職員期間としての勤務期間相当分

注）退職手当支払い見込みにより交付し、翌々年度の運営費交付金で精算する。

③法人化前の県債元利償還金

法人化前の施設・設備整備にかかる県債の元利償還額の一定割合

④法人化後の県債元利償還金

法人化後の施設・設備整備にかかる長期借入金の元利償還額の一定割合

なお、長期借入金等元利償還金に充当される運営費交付金は、経常費助成のための運営費交付金とする。

2 収支計画（令和6（2024）年度～令和10（2028）年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
収入の部	218,085
営業収益	217,012
医業収益	196,789
看護師養成収益	593
運営費交付金	16,793
補助金等収益	903
資産見返負債戻入	1,052
営業外収益	1,073
運営費交付金	574
その他営業外収益	499
臨時利益	0
支出の部	225,230
営業費用	224,129
医業費用	220,627
給与費	102,930
材料費	65,206
経費	34,346
減価償却費	17,842
研究研修費	303
看護師養成費用	1,776
一般管理費	1,726
営業外費用	1,096
臨時損失	5
純利益	△ 7,145

公立病院経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画

(単位：百万円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
経常収益	41,994	43,047	43,633	44,157	44,373
営業収益	41,801	42,853	43,426	43,915	44,136
医業収益	38,180	39,116	39,578	39,670	39,877
入院収益	26,331	27,157	27,616	27,696	27,908
外来収益	11,142	11,242	11,245	11,253	11,248
その他医業収益	707	717	717	721	721
運営費交付金収益	2,981	3,103	3,279	3,700	3,731
その他営業収益	640	634	569	545	528
営業外収益	193	194	207	242	237
運営費交付金収益	93	94	107	143	138
その他営業外収益	100	100	100	100	100
経常費用	44,172	45,203	45,344	45,271	45,235
営業費用	43,965	45,000	45,111	45,040	45,013
医業費用	43,314	44,285	44,397	44,329	44,302
給与費	20,575	20,578	20,592	20,593	20,592
材料費	12,786	13,000	13,114	13,126	13,180
薬品費	7,501	7,621	7,700	7,712	7,749
診療材料費	5,213	5,308	5,343	5,342	5,348
給食材料費	15	16	16	16	16
医療消耗備品	56	55	56	56	67
経費	7,093	6,800	6,794	6,803	6,856
減価償却費	2,799	3,847	3,836	3,747	3,614
研究研修費	61	61	61	61	61
その他営業費用	652	715	713	711	711
営業外費用	206	203	233	232	222
医業損益	▲ 5,133	▲ 5,169	▲ 4,819	▲ 4,659	▲ 4,426
経常損益	▲ 2,178	▲ 2,156	▲ 1,710	▲ 1,114	▲ 862
臨時利益	0	0	0	0	0
臨時損失	1	1	1	1	1
総損益	▲ 2,179	▲ 2,157	▲ 1,711	▲ 1,115	▲ 863
県運営費負担金	3,073	3,197	3,386	3,842	3,869

公立病院経営強化プラン対象期間中の病院別経営目標数値

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
経常収支比率	95.1%	95.2%	96.2%	97.5%	98.1%
奈良県総合医療センター	93.2%	93.5%	95.0%	96.6%	97.2%
奈良県西和医療センター	102.5%	102.7%	102.6%	103.6%	104.1%
奈良県総合リハビリテーションセンター	94.9%	94.0%	94.9%	94.8%	95.1%
医業収支比率	95.0%	96.0%	97.0%	98.0%	99.0%
奈良県総合医療センター	92.0%	93.0%	94.0%	96.0%	96.0%
奈良県西和医療センター	100.0%	101.0%	101.0%	103.0%	103.0%
奈良県総合リハビリテーションセンター	94.0%	94.0%	95.0%	95.0%	95.0%
修正医業収支比率	88.2%	88.3%	89.2%	89.5%	90.0%
奈良県総合医療センター	84.8%	84.8%	85.8%	85.8%	86.4%
奈良県西和医療センター	91.6%	91.3%	91.7%	91.6%	91.9%
奈良県総合リハビリテーションセンター	87.7%	87.1%	88.4%	88.7%	88.9%

3 資金計画（令和6（2024）年度～令和10（2028）年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
資金収入	229,471
業務活動による収入	208,747
診療業務による収入	196,789
運営費交付金による収入	9,963
補助金等による収入	903
その他の業務活動による収入	1,092
投資活動による収入	7,405
運営費交付金による収入	7,405
その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	12,809
長期借入金による収入	11,964
短期借入金による収入	845
前期からの繰越金	510
資金支出	229,472
業務活動による支出	200,061
給与費支出	95,830
材料費支出	65,206
その他の業務活動による支出	39,025
投資活動による支出	11,689
固定資産の取得による支出	11,689
財務活動による支出	17,222
移行前地方債償還債務の償還による支出	74
長期借入金債務の償還による支出	13,248
短期借入金の返済による支出	3,900
次期への繰越金	500